

## 目次

目次・編集方針	01
トップメッセージ	02
CSRマネジメント	03
りそなグループCSR目標・実績・評価	05
コーポレートガバナンス	09
りそなホールディングスにおける取組状況等	
内部統制に関する事項	
リスク管理体制	
オペレーショナルリスク管理	
株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション	
人権	17
ダイバーシティ	20
コンプライアンス	24
消費者課題/お客さまサービス	29
コミュニティ	43
環境	51
公的資金完済に向けた展望	58
パフォーマンスデータ一覧	59
イニシアチブへの参加	61
日本版スチュワードシップ・コードの受入れ	62
外部表彰	63
第三者所見	64
りそなグループの概要	65
ISO26000/GRIガイドライン/国連グローバル・コンパクト対照表	66

コーポレートガバナンス(P.9~16)、コンプライアンス(P.24~28)に関する詳細情報は、りそなグループディスクロージャー誌に掲載しております。あわせてご参照願います。

本資料は、投資信託・個人年金などの商品の具体的な内容をご案内するものではありません。投資信託・個人年金保険など、元本保証のないリスク性商品ご購入の際は、店頭で各商品に関する説明書をご用意しておりますので、必ずご確認くださいませようお願いいたします。

### 「CSRレポート2014 ハイライト編」のご紹介

りそなグループのCSR活動の特徴的な取組みについてコンパクトにわかりやすく報告する「CSRレポート2014 ハイライト編」を発行しています。りそなホールディングスのホームページにおいてPDF、または電子ブック形式で掲載するほか、グループ各銀行の店舗に冊子を備置しています(2014年7月より)。あわせてご覧いただけますようお願いいたします。

## 編集方針

本レポートは、りそなグループのCSR活動に関する情報をステークホルダーの皆さまにわかりやすく開示することを目的として作成しています。

本レポートの作成にあたっては、国際的なガイドラインである『GRI(Global Reporting Initiative※1) サステナビリティ・レポート・ガイドライン第4版(G4)』、グローバル・コンパクト※2、ISO26000※3を参考にして、開示情報の重要性やバランスに留意し、さらに本レポートの客観性を高めるために第三者所見を掲載しています。このレポートを通じて、皆さまとのコミュニケーションが促進され、りそなグループに対するご理解の深まりへとつながれば幸いです。

※1 GRI(Global Reporting Initiative): 企業などが発行するサステナビリティレポートに関する国際的なガイドラインを作成し、普及させるために、1997年に世界各地の企業やNGOなどの様々なステークホルダーが参画して設立された国際的な組織。

※2 グローバル・コンパクト: 国連の提唱するイニシアチブ。「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」などのテーマに取組むよう、企業に対し、自発的な取組みを求めている。

※3 ISO26000: 組織の社会的責任に関する国際規格(ガイドライン)。

### ■ 対象範囲

- ・りそな銀行 ・埼玉りそな銀行 ・近畿大阪銀行
- ・その他の主要なグループ各社

※本レポートにおける対象範囲の表記について  
「りそなグループ」、「りそな」、「当グループ」、「当社グループ」:  
りそなグループ及び主要なグループ会社を指します。

### ■ 対象期間

2013年4月1日~2014年3月31日

※ただし、一部の重要な項目においては対象期間以外の情報も含まれています。

### ■ 発行時期

2014年7月(りそなホールディングスのホームページに掲載)

### ■ お問い合わせ先

株式会社りそなホールディングス  
コーポレートコミュニケーション部 CSR推進室

東京本社

〒135-8582

東京都江東区木場1丁目5番65号 深川ギャザリア W2棟

TEL.03-6704-3111

大阪本社

〒540-8608

大阪府中央区備後町2丁目2番1号

TEL.06-6268-7400

ホームページアドレス:<http://www.resona-gr.co.jp/>

ホームページ(Re:Heart倶楽部)

<http://www.resona-gr.co.jp/reheart/>

Facebook:<http://www.facebook.com/resonagr/>